

2026年1月 ㈱三越伊勢丹ホールディングス 国内百貨店事業 売上速報



■2021年4月から収益認識基準の適用がスタートいたしましたが、売上速報・売上確報で開示する国内百貨店事業の売上につきましては従来の総額売上高で開示いたします。

国内百貨店事業 売上

㈱三越伊勢丹 店舗	前年比	4月－1月累計
伊勢丹新宿本店 店頭	101.8%	99.4%
三越日本橋本店 店頭	113.2%	104.6%
三越銀座店	99.2%	98.4%
伊勢丹立川店	98.5%	98.4%
伊勢丹浦和店	101.8%	97.3%



	前年比	4月－1月累計
㈱三越伊勢丹 計 ①	103.3%	100.2%

*伊勢丹新宿本店でのお得意様ご招待会（丹青会。前年1/31(金)～2/2(日)）：1月分実績約46億円の月ズレ有（本年は2/6(金)～8(日)に開催）

グループ百貨店事業会社	前年比	4月－1月累計
札幌丸井三越	89.6%	95.2%
函館丸井今井	96.0%	92.2%
仙台三越	101.6%	96.2%
新潟三越伊勢丹	98.1%	100.1%
静岡伊勢丹	98.3%	95.9%
名古屋三越	102.6%	95.6%
広島三越	90.5%	87.9%
高松三越	100.2%	96.1%
松山三越	90.2%	88.3%
岩田屋三越	105.1%	98.6%

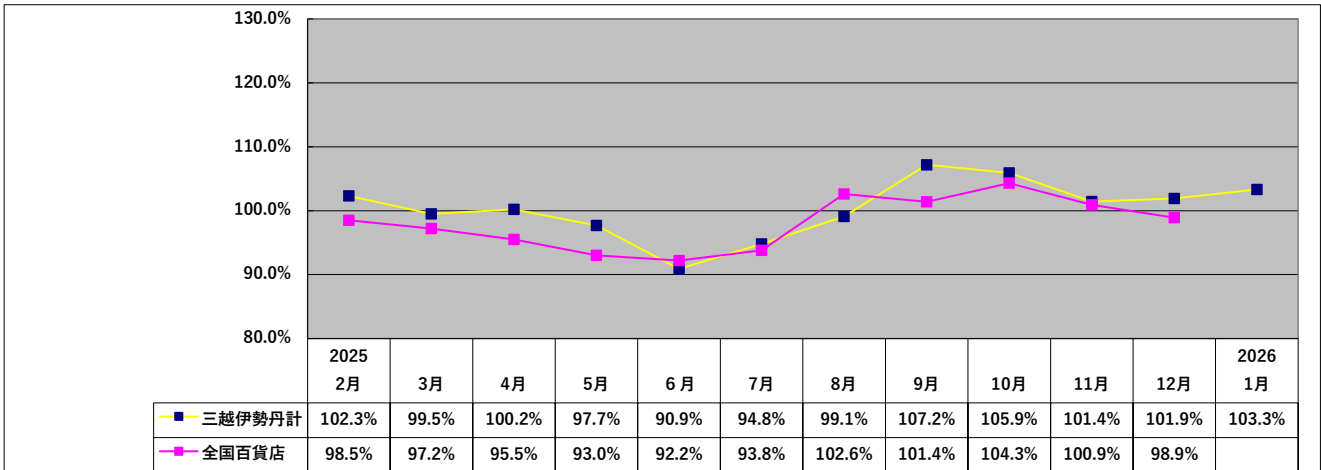


	前年比	4月－1月累計
国内グループ百貨店 計 ②	99.8%	96.8%

	前年比	4月－1月累計
国内百貨店 計 (①＋②)	102.1%	99.0%

過去1年間の月別売上高（前年比）推移 [三越伊勢丹・全国百貨店（日本百貨店協会発表）]

※数字は速報値です。三越伊勢丹計は既存店計の実績です。



概況

大型マイナス与件(お得意様ご招待会と春節休暇の月ズレ) を乗り越えた1月。2月は好与件を持ってスタート

- お得意様ご招待会(丹青会。本年2/6(金)～8(日)、前年1/31(金)～2/2(日))、春節中国休暇期間（本年2/15(日)～23(月)、前年1/28(火)～2/4(火))が月ズレする中、国内百貨店計102.1%と前年を上回る。丹青会の影響を除いた実態（前年開催日前までの比較）は、伊勢丹新宿本店114.9%、㈱三越伊勢丹110.8%、国内百貨店計107.1%と、2026年のスタートを力強い実績で踏み出した。
- 国内識別顧客の売上高は前年対比で二桁伸長。全国各店で実施中のショコラ催事や伊勢丹新宿本店におけるリモデルオープン、独自性イベント等、「個客業」における"集客"施策と、人・デジタルの力による"利用拡大"（客単価向上）の両輪が、持続的な成長に繋がっている。
- 海外顧客の売上高トレンドは、春節休暇の月ズレ与件を抱えながら12月の水準を継続。中国本土・香港を除く国・地域合計では前年を上回って推移。海外顧客向けアプリ（MITSUKOSHI ISETAN JAPAN）による識別化、海外外商による"人の繋がり"も順調に拡大し、中長期での安定化に向けた基盤構築が進んでいる。

お問い合わせ先

【三越伊勢丹ホールディングス 広報担当】TEL：050-1704-0684
 【同 IR担当】TEL：080-7577-7640/090-8593-0298/080-7577-7727/080-2082-2777
 【個人株主の方はこちら】0120-230-051 木曜・日曜・大晦日・元日を除く10時～18時